

1. 未来への希望を育む子育て・教育

(1) 小学校普通教室のエアコン設置を求めて

- ①本市における「学校施設環境改善交付金」のこれまでの活用実績と今後活用が計画されている施策について
- ②小学校全普通教室にエアコン設置するための概算費用と早期設置の実現を求めて

【答弁】

それでは、「1. 未来への希望を育む子育て・教育」の(1)の①②について、順次、お答えいたします。

はじめに①について、国の学校施設環境改善交付金におきましては、これまで、子どもたちの命に直接かかわる学校施設の構造体や非構造部材の耐震化事業を優先して採択されていたことから、本市におきましても、国の補助制度を活用し、子どもたちの安全を最優先に考え、新耐震基準に満たない構造体の耐震補強工事を実施してまいりました。

また、現在も事業計画を進めている屋内運動場の非構造部材耐震化工事やトイレの洋式化工事、並びに本年度で完了する中学校普通教室空調設備整備事業についても交付金の活用を図っているところであります。

今後も本市を取り巻く情勢は厳しいものがあることから、引き続き、現在進行中の事業はもとより、小学校普通教室へのエアコン設置についても国の補助制度の活用を図り、財源の確保に努めていきたいと考えております。

次に②についてお答えいたします。

例年の夏の暑さと比べても、特に今夏においては、気象庁からも連日のように熱中症の注意喚起がなされるなど、学校で過ごす子どもたちの健康を守るための環境整備は重要な課題となっております。

本市では、現在、計画的に全中学校において普通教室へのエアコン設置を進めており、今年度に完了いたします。

一方、小学校では、職員室や保健室などの管理諸室のほか、パソコン教室や図書室などの特別教室、また、必要に応じて支援教室にエアコンを設置し、今年度には、全小学校の音楽室へのエアコン整備を進め、引き続き、普通教室へエアコンを設置していく必要もあることから、整備計画の検討も行ってきたところであります。

小学校普通教室へのエアコン設置につきましては、中学校よりも普通教室数が2倍以上あることや受変電設備の大規模な更新等により、概算ですが、約12億円と大きな事業費が必要となりますことから、財源の確保が重要な課題であり、過日の本会議でも教育施設へのエアコン設置の財源措置を求める意見書が、全会一致で可決されておりますように、国における補助制度の活用は不可欠となります。

本市としましては、今夏の状況を受けて、小学校普通教室へのエアコン整備について、国の補助制度の動向等にも注視しながら、できるだけ早期に設置できるよう、取り組んでまいります。